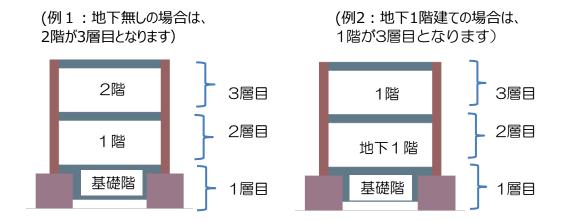
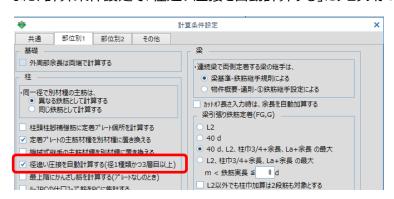
# 柱主筋の径違いの入力

主筋径が1種類の時で、3層目以上の階であれば、自動で径違い継手が算出されます。 上記以外の場合は、径違いの入力を行う必要があります。

※3層目とは、「基礎階」を1層目と考えて、下から3つ目の階を指します。

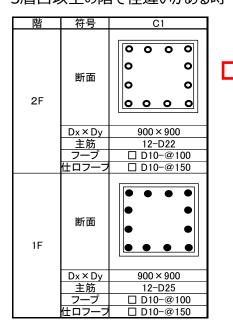


以下、地下無しの建物を例に説明します。また、計算条件設定で「径違い圧接を自動計算する」にチェックがついていることを前提とします。

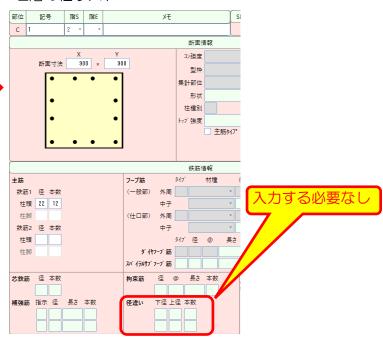


#### 1. 主筋径が1種類の時

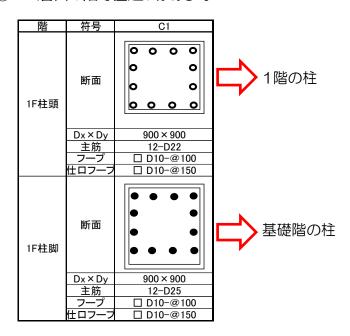
① 3層目以上の階で径違いがある時



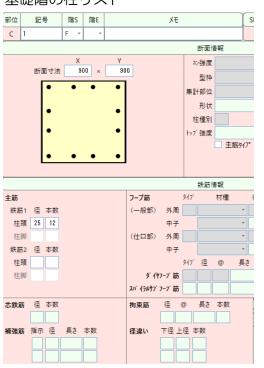
## 2階の柱リスト



### ② 2層目の階で径違いがある時



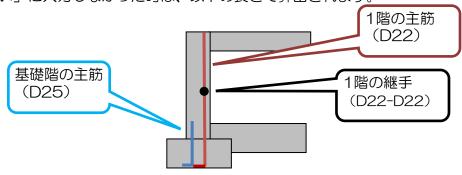
### 基礎階の柱リスト



#### 1階の柱リスト

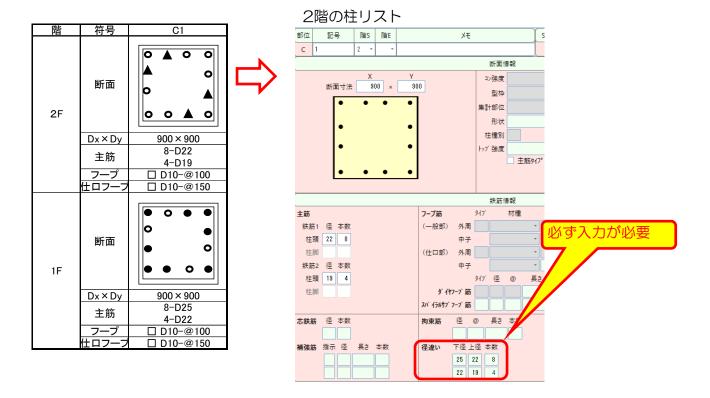


※「径違い」に入力しなかった時は、以下の長さで算出されます。



#### 2. 主筋径が2種類の時

主筋径が2種類ある時で、径違いが発生する場合は、3層目以上であっても必ず「径違い」に入力が必要です。



※「径違い」に入力しなかった時は、以下の長さで算出されます。

